



Aimé Humbert *Le Japon illustré* Paris, 1870 エメ・アンベール 『幕末日本図絵』

スイスの時計業組合の会長だったエメ・アンベール (Aimé Humbert, 1819-1900) は、時計産業をはじめとするスイスの対外貿易振興のため、日本と修好通商条約を締結する任務を負って、1863年、遣日使節の団長として来日した。

条約締結には約10ヶ月を要したが、難航する任務にあたる一方で、アンベールは日本の社会や人々の観察にも熱心に取り組んだ。彼は可能なかぎり自身の足で日本人の暮らしに近づき、目の当たりにする異国の文化を真摯な探究心をもって理解しようとした。日本を知る助けとして、書籍・絵画・版画なども幅広く買い求めた。

本書は、江戸などでの見聞と、日本の社会に関する考察、日本各地の風景、伝統的な年中行事・祭礼、武士・職人・商人など様々な階級の暮らしぶりなどを描いた450点以上の挿図で構成されている。原題“illustré”(図説、描かれた)のとおり、幕末日本の文化を挿絵によっていきいきと西洋に紹介した。

展示資料は1870年パリにて発行されたフランス語初版。全2巻。国際交流基金ライブラリーでは本書のほか、英語訳“Japan and the Japanese: illustrated”(1874年, Richard Bentley発行)も所蔵している。